

<12月・1月の行事予定>

12 月		1 月			
1 (日)	通信制スクーリング	1 (水)	元旦		
2 (月)	通信制レポート [※] 切(農・簿④)	2 (木)	冬季休業		
3 (火)		3 (金)			
4 (水)		後期中間考査		4 (土)	
5 (木)				5 (日)	通信制スクーリング
6 (金)				6 (月)	
7 (土)				7 (火)	
8 (日)		8 (水)	平常授業開始		
9 (月)	交通安全指導、答案指導 ★	9 (木)			
10 (火)	人権・同和教育学習会 ★	10 (金)			
11 (水)		11 (土)			
12 (木)		12 (日)			
13 (金)			13 (月)	成人の日	
14 (土)			14 (火)		
15 (日)			15 (水)		
16 (月)			16 (木)	月曜日(①-④)授業	
17 (火)		17 (金)			
18 (水)	防災訓練、美化活動 ★	18 (土)	センター試験		
19 (木)	球技大会 ★	19 (日)	"		
20 (金)	全校集会、ホームルーム活動 ★	20 (月)			
21 (土)		21 (火)			
22 (日)		22 (水)			
23 (月)		23 (木)			
24 (火)		冬季休業		24 (金)	
25 (水)			25 (土)		
26 (木)			26 (日)	通信制後期試験	
27 (金)			27 (月)		
28 (土)		28 (火)			
29 (日)		29 (水)	卒業予定生徒後期期末考査発表		
30 (月)		30 (木)			
31 (火)		31 (金)			

- ・★印は20:00前後に学校終了予定です。
- ・冬休み中の部活動は、原則として実施しません。年末やお正月は、お家の方と一緒に大掃除などの手伝いをして、楽しく過ごしてください。気持ちを新たにして新年を迎えましょう。
- ・卒業予定生徒の試験は2月5日(水)から7日(金)までです。卒業式は3月1日(日)です。

「今週のことばから」

4年次担任 飛鷹 靖

4年次のホームルームでは、毎日B4サイズのホワイトボードに日直当番や連絡事項などを書き、黒板に貼るようにしています。そのボードに毎週、今週のことばというコーナーを設けています。生徒の様子を見て伝えたいことや紹介したいと思う言葉を書いています。昨年度に続き生徒に紹介した言葉をいくつかここで紹介します。

- ・じっくり考える。しかし、行動する時が来たなら、考えるのをやめて、進め。 ナポレオン・ボナパルト
- ・他の人にどう思われても、自分の価値は変わらない。
- ・私は才能も能力もないから、今まで、誰にでもできる平凡なことを、誰にもできないくらいやってきた。そのおかげで、平凡の中から生まれる、大きな非凡を知ることができました。その平凡なこととは掃除です。とくにトイレ掃除。「一つ拾えば一つきれいになる。」 鍵山 秀三郎「イエローハット」創業者
- ・人生はかけ算だ。どんなにチャンスがあっても、君が「ゼロ」なら、意味がない。 ナカムラミツル
- ・チャンスは努力している人、努力してきた人にやってくる。
- ・人間は心構えを変えることによって、その人生を変えることができるということである。 ウィリアム・ジェームズ
- ・頑張りば自信がつく。次のチャンスにも頑張れる。その自信が大切なんだ。ベストを尽くせばいつかは報われる。嘘じゃない。それだけは信じてくれ。ふてくされたら負けだぞ。戦わない(何もしない)でふてくされるくらい、つまらない生き方はない。 桜木建二(ドラゴン桜)
- ・苦しい時「こそ」前進している。フリーライター、作家 井芹貴志(いせりたかし)
- ・1日は有限 使い方は無限。フリーライター、作家 井芹貴志(いせりたかし)
- ・靴をそろえるということは、すべてに気配りができるということ
- ・言葉は返ってくるもの
ありがとうも、悪口もちゃんと自分に返ってくる———世の中は「鏡」です。笑顔でいれば、まわりも笑顔になり、あなたが不機嫌でいれば、まわりも不機嫌にあります。あなたの気持ちがまわりに伝染していくのです。 腰塚勇人
- ・「5つの誓い」 ① 口は人を励ます言葉や感謝の言葉を使うために使おう。
② 耳は人の言葉を最後まで聴いてあげるために使おう。
③ 目は人のよいところを見るために使おう。
④ 手足は人を助けるために使おう。
⑤ 心は人の痛みがわかるために使おう。
- ・人の身体は、「食べたモノ」でつくられる。人の心は、「聴いた言葉」でつくられる。
人の未来は、「話した言葉」でつくられる。

まだまだ多くの言葉を生徒には紹介しました。それらの言葉が人生の中で一つでも心に残ってくれと嬉しいです。

4年次生が卒業するまで言葉を伝えていきたいと思います。

時間銀行～Time is ()～

1年次担任 清川 正義

次のような銀行があると考えてみましょう。

その銀行は、毎朝あなたの講座へ86,400円を振り込んでくれます。同時に、その口座の残高は毎日ゼロになります。つまり、86,400円の中で、あなたがその日に使い切らなかった金額はすべて消されてしまいます。あなただったらどうしますか？もちろん、毎日86,400円全額を引き出しますよね。

私たちは一人ひとりが同じような銀行口座を持っています。それは<時間>です。毎朝、あなたに86,400秒が与えられます。毎晩、あなたが上手く使い切らなかった時間は消されてしまいます。それは、翌日に繰り越されません。それは、貸し借りできません。

1年の価値を理解するには、入学試験に失敗した学生に聞いてみるといいでしょう。

1か月の価値を理解するには、お腹に赤ちゃんがいる母親に聞いてみるといいでしょう。

1週間の価値を理解するには、週刊誌の編集者に聞いてみるといいでしょう。

1時間の価値を理解するには、待ち合わせをしている恋人たちに聞いてみるといいでしょう。

1分の価値を理解するには、ちょうど電車を乗り過ごした人に聞いてみるといいでしょう。

1秒の価値を理解するには、たった今、事故を避けることができた人間に聞いてみるといいでしょう。

0.1秒の価値を理解するには、オリンピックで銀メダルに終わってしまった人に聞いてみるといいでしょう。

昨日、あなたの講座には、86,400円が振り込まれました。今日も、当たり前のように、86,400円が振り込まれました。あなたは、何に使いますか。明日、もし、86,400円が振り込まれなかったとしたら、あなたは・・・どうしますか・・・？

平等に与えられている86,400秒。これの使い道次第で、人生は大きく左右されるのでしょうか。あなたなら、

「Time is ()」の()に何をいれますか？

(吉田浩『あした元気になるために 人生の時間旅行』より)